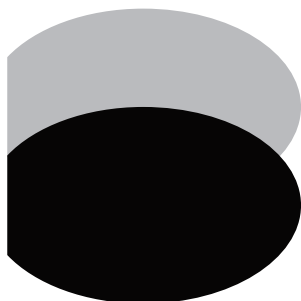


20250408

絵本学会 NEWS No.81

発行：絵本学会
発行日：2025 年 4 月 8 日
編集：絵本学会広報委員会
絵本学会事務局：〒100-0003
東京都千代田区一ツ橋 1-1-1 パレスサイドビル 9F
(株) 毎日学術フォーラム内
電話：03-6267-4550
Mail : maf-ehongakkai@mynavi.jp
HP : <http://www.ehongakkai.com>



絵本学会

- ・第28回2025年絵本学会横浜大会開催のお知らせ
- ・日本絵本研究賞運営委員会から
第6回1期日本絵本研究賞審査結果報告
- ・日本絵本研究賞関連規則
- ・紀要編集委員会からのお知らせ
- ・研究委員会からのお知らせ
- ・理事会議事録
- ・事務局より 寄贈資料・展覧会
- ・編集後記

■ 第 28 回 2025 年絵本学会横浜大会開催のお知らせ ■ 大会テーマ 絵本の窓から世界を見る

◆主催：絵本学会

◆後援：横浜市教育委員会

◆期日

2025 年 6 月 21 日 (土)・22 日 (日)

◆会場

横浜市開港記念会館

〒231-0005 横浜市中区本町 1-6

◆アクセス

駐車場はありません。公共交通機関をご利用ください。

- ① JR京浜東北線・根岸線「関内駅」南口から徒歩 10 分 (約 700 m)
- ② 市営地下鉄線「関内駅」1 番出口から徒歩 10 分 (約 700 m)
- ③ みなとみらい線「日本大通り駅」1 番出口から徒歩 1 分 (約 50 m)

◆参加費 (peatix にて受付)

会員：1,800 円 (2 日間通し)

一般：1,800 円 (1 日)、3,500 円 (2 日間通し)

学生 (絵本学会会則による準会員 A・B を含む)：1,000 円 (2 日間通し)

◆ウェルカムイベント (懇親会+朗読会)

参加費：5,000 円 (peatix にて受付)

会場：象の鼻テラス

〒231-0002 横浜市中区海岸通 1-1 / 開港記念会館より
徒歩 5 分

◆プログラム

□第 1 日目 6 月 21 日 (土)

11:30 ~ 受付

12:00 ~ 開会式 講演

12:10 ~ 追悼特別企画「谷川俊太郎と絵本」

ピアノ演奏とトーク：谷川賢作氏 (音楽家)

聞き手：林綾野氏 (「絵本★百貨展」企画者、フリーキュレーター)

14:40 ~ スペシャルトーク 荒井良二氏 (絵本作家)

「荒井良二の魅力を解明する—マーガレット・ワイズ・ブラウンや長新太から何を学んだか?—」

聞き手：松本猛 (大会実行委員長 / ちひろ美術館常任顧問、元絵本学会会長、横浜美術大学客員教授)

17:00 ~ 18:20 絵本学会総会 (会員のみ)

18:30 ~ ウェルカムイベント (懇親会+朗読会)

会場：象の鼻テラス

谷川俊太郎の絵本と詩の朗読：水野真紀 (俳優)、野田英里 (フリーアナウンサー)

□第 2 日目 6 月 22 日 (日)

9:30 ~ 受付

10:00 ~ 研究発表 (A 室、B 室)

12:00 ~ 休憩・昼食

13:00～ 作品発表

14:30～ ラウンドテーブル

①「絵本でつながるケアとインクルージョン」

コーディネーター：原島恵（ちひろ美術館シニアアソシエート・主任学芸員）

コメンテーター：水島尚喜（聖心女子大学、絵本学会会長）

ゲスト：村中李衣（児童文学作家、絵本作家）

②「科学絵本について」

コーディネーター：竹内美紀（東洋大学）

ゲスト：館野鴻（絵本作家）、澤田精一（元福音館書店編集者、元絵本学会会長）

③「ブルーノ・ムナーリの絵本の独創性」

コーディネーター：有福一昭（有明教育芸術短期大学）

ゲスト：岩崎清（日本ブルーノ・ムナーリ協会代表）

閉会式 16:30～17:00

◆企画展示「教育現場の絵本表現」

京都芸術大学、静岡文化芸術大学、筑波大学、東京成徳大学、横浜美術大学

◆絵本展示、情報コーナー、両日とも

第28回絵本学会横浜大会実行委員会事務局

（お問い合わせ先）

メールアドレス：anazawa@kokugakuintochigi.ac.jp

◆宿泊は参加者各自でお早めにご手配されますようお願いいたします。



日本絵本研究賞運営委員会から

第6回1期日本絵本研究賞審査結果報告

日本絵本研究賞運営委員長 かわこうせい

2025年2月11日開催の研究賞運営委員会において、第6回1期日本絵本研究賞の選考会が行われ、推薦された論文等3件、図書5件について審査されました。その結果、年次優秀賞および次点として以下の4点が選出されました。研究賞は論文等を、また特別賞は図書を対象としています。

なお「日本絵本研究賞規則第3条」により選出された以下の研究賞運営委員が、選考にあたりました。

浅野法子、かわこうせい、藤本朝巳、森覚
(アイウエオ順／敬称略)

【研究賞】年次優秀賞

○山内椋子「美術雑誌で語られた「絵本」：絵本の絵への着目と「絵本の美術」の成立」

(『絵本学』26号, 2024年3月, pp.1~9)

戦後の美術雑誌に掲載された絵本に関する言説を掘り起こし、多様な視点から年代別に一望することで、美術の観点から論じられた絵本の姿を浮き彫りにする優れた研究である。この研究は、対象読者の拡大、絵と文字の関係性の変化、多様化による絵本の境界の拡張など、複眼的な「絵本の見方」を提供している。とくに1940年代末から1990年代にかけて発行された美術雑誌に見られる絵本をめぐる言説を明らかにした点を高く評価したい。「絵本はアート」という考え方が普及する現在の絵本学において、絵本の芸術性がいつ頃から語られはじめたのかを探究し、美術としての絵本観の萌芽と展開を浮かび上がらせる試みは意義深いものである。また、松居直や加古里子の言説に着目し、「絵の優位性」を説く絵本論の功罪にも言及しており、美術としての絵本を語る上で再考すべき問題を認識させる。

<短評：かわこうせい>

【研究賞】年次優秀賞 次点

○今田由香「ショーン・タンの物語絵本における「欠如の表現」に関する考察」

(『日本女子大学大学院紀要・家政学研究科・人間生活学研究科』30号, 2024年3月, pp.139~148)

Shaun Tanの絵本6冊における独特の表現に着目し、それら

物語絵本の要素を欠いた表現を「欠如の表現」ととらえ、各作品の特質を、M. リュティの「平面性」、V. プロップの「欠如」、A. ダンデスの「不均衡から均衡へ」、W. イーザーの「受容」理論などを援用しながら解き明かそうとした論考である。現代人の孤独や疎外感などを読み解いた優れた論考であり、評価できる。

しかし、さまざまな理論を多用した結果、全体として、ややまとまりのない論文となっており、さらに用語や記述法を整理し、他作品の分析にも広げて、執筆者が課題としている「文字を使わず物語る絵本表現」の論考を深めて欲しい。

<短評：藤本朝巳>

【特別賞】年次優秀賞

○是澤博昭『赤本〈1938～1941〉——内務省児童読物統制・佐伯郁郎とその盟友——』

(世織書房, 2023年11月)

『赤本〈1938～1941〉——内務省児童読物統制・佐伯郁郎とその盟友——』では、1932年10月に内務省が通達した「児童読物改善ニ関スル指示要綱」について、内務省判任官の佐伯郁郎、ならびに波多野完治、百田宗水、阪本越郎、城戸幡太郎、小川未明らによる「子どものため」という善意の悪書浄化だったと指摘する。本書では先行研究や資料にもとづき、国家の戦時政策へ吸収されていく官僚、研究者、作家、民意の善意が、20世紀に創出された「保護されるべき存在としての子ども像」というイデオロギーに支えられていたことを暴き出す。

<短評：森覚>

【特別賞】年次優秀賞 次点

○正置友子『生きるための絵本』（風間書房, 2023年10月）

長年にわたる研究・実践活動に裏打ちされた筆者の絵本観に基づいた絵本ブックリストとしてとらえられる一冊。研究の社会化を意識した一般向けの著作であることに本書の特徴がある。乳幼児からおとなまでを10段階に分け、それぞれの章で紹介された絵本127冊は、選び抜かれたものであることがわかる。近年、絵本に関する論考は実践報告が多数を占めるが、本書のような実践活動に基づく絵本表現の分析は、絵本の多様性をとらえるひとつの試みとして評価できる。

<短評：浅野法子>

次年度以降に、第2期、第3期の選考会を経て、日本絵本研究賞および特別賞の候補を決定する予定です。

日本絵本研究賞関連規則

日本絵本研究賞運営委員長 かわこうせい

2025年2月28日に開催された第5回絵本学会理事会にて、「日本絵本研究賞規則」および「日本絵本研究賞選考規則」の改訂案が承認されました。これを機に、両規則を公開します。

【日本絵本研究賞規則】

■第1条（設置・目的）

1. 絵本学会（以下「本学会」という）は活動主旨に基づき、本学会に「日本絵本研究賞」（以下「研究賞」という）および「日本絵本研究賞奨励賞」（以下「奨励賞」という）、「日本絵本研究賞特別賞」（以下、「特別賞」という）、を設ける。
2. 研究賞および奨励賞、特別賞は、さらなる絵本研究や評論活動の活性化を図ることにより、今後の絵本研究の発展や深化に寄与することを目的とする。

■第2条（対象および推薦）

研究賞および奨励賞、特別賞は、第1条2項をふまえ、以下、2項を対象の条件とし、推薦をもって各賞の候補とする。

1. 研究賞および奨励賞は対象期間内に学会・大学・博物館・美術館の紀要、雑誌、展覧会図録などに発表された本学会員の単独または共同執筆による論文・評論・報告を対象とする。
2. 特別賞は対象期間内に発表された、特にすぐれた絵本研究や評論活動として認められる公刊された図書を対象とする。
3. 対象の中から絵本学会会員によって推薦された研究および図書を、各賞の候補とする。

■第3条（運営委員会）

研究賞および奨励賞、特別賞の選考運営のため、理事会のもとに、「日本絵本研究賞運営委員会」（以下「運営委員会」という）を設ける。

1. 運営委員会の構成は委員5名とし、本学会会員によって構成する。
2. 運営委員会は、理事会での互選により委員長を置く。
3. 運営委員会委員長は、選考委員会において第一次選考の経緯の報告を行う。
4. 運営委員会は、選考委員会の開催、その他必要な事項を掌務する。
5. 運営委員の任期は、理事会承認より3年とする。

■第4条（選考委員会）

1. 研究賞および奨励賞、特別賞の候補者を選考するため、以下の構成員からなる「日本絵本研究賞選考委員会」（以下「選考委員会」という）を設ける。
 - (1) 選考委員の構成は委員を5名とし、選考委員長（以下「委員長」という）を置く。
 - (2) 選考委員会は最終選考を行う。
2. 委員長は、第4条1項による選考委員の互選により決定する。
3. 選考委員は会長が指名し、理事会の承認により決定する。
4. 選考委員会の構成
 - (1) 選考委員会委員長
 - (2) 本学会会員委員
 - (3) 運営委員会委員長
 - (4) その他、本学会会員以外の専門家を置くことができる。
5. 選考委員は選考を行う事業年度に任命し、任期は選考から賞授与までとする。
6. 選考委員会は受賞者を選考する。委員長は選考結果について、選考理由書を付けて理事会に報告する。
7. 受賞の選考方法は、別に定める。

■第5条（賞の授与・公示）

1. 研究賞受賞者には、表彰状および賞金を授与する。
2. 奨励賞受賞者には、表彰状および賞金を授与する。
3. 特別賞受賞者には、表彰状および賞金を授与する。
4. 研究賞および奨励賞、特別賞の受賞者について学会大会において紹介を行う。
5. 研究賞および奨励賞、特別賞の選考結果は、本学会ホームページ、『絵本学会NEWS』、機関誌『絵本BOOKEND』、公益社団法人全国学校図書館協議会速報その他において公示する。

■第6条（規則の運用及び変更）

1. 本規則に定めのない事項は、絵本研究賞運営委員会において協議し、理事会に諮る。
2. 本規則の変更は、絵本研究賞運営委員会において協議し、理事会に諮る。

付則

本規則は令和7年3月1日より改正施行する。

【日本絵本研究賞選考規則】

■第1条（目的）

この規則は、日本絵本研究賞規則に基づき、絵本学会（以下「本学会」という）が授与する「日本絵本研究賞」（以下「研究賞」という）および「日本絵本研究賞奨励賞」（以下「奨励賞」という）、「日本絵本研究賞特別賞」（以下「特別賞」という）の選考について定める。

■第2条（選考の手順）

1. 研究賞および奨励賞、特別賞の選考は、日本絵本研究賞規則第2条に定める絵本学会会員の推薦を基に、第3条に定める絵本研究賞運営委員会（以下「運営委員会」という）ならびに第4条に定める日本絵本研究賞選考委員会（以下「選考委員会」という）がその運営と選考を行う。
2. 選考の対象は、日本絵本研究賞規則第2条に定める条件を満たすものとする。ただし、選考会の委員長および委員は自身が関係する論文、著書の選考に関わることはできない。
3. 選考は、運営委員会による第一次選考、選考委員会による最終選考の2段階で行う。

■第3条（第一次選考）

第一次選考は、絵本学会会員から推薦のあった対象論文、図書をもとに運営委員会において審議を行い、研究賞6編、特別賞2編を選考し、選考理由書を付して選考委員会に推薦する。

■第4条（最終選考）

1. 最終選考は、原則として全委員出席とする。
2. 選考委員会は、第一次選考で選出された研究賞6編、特別賞2編の論文、図書及について選考を行い、委員の合意のもとに研究賞、奨励賞、特別賞各受賞候補を決定する。ただし、該当作なしとする場合がある。
3. 運営委員会は、受賞候補者に連絡し、受賞の意思を確認する。
4. 受賞候補者は理事会の承認を経て正式決定し、4月末日までに運営委員会が受賞者に受賞の連絡を行う。

■第5条（授賞式）

授賞式は絵本学会大会において挙行する。

■第6条（規則の変更）

本規則の変更は、運営委員会において協議し、理事会に諮る。

付則

本規則は、令和7年3月1日より改正施行する。



紀要編集委員会からのお知らせ

『絵本学』第28号投稿募集

『絵本学』第28号（2026年3月刊行予定）の投稿を募集します。

投稿に当たっては、下記の投稿規程ならびに絵本学会ホームページに掲載の執筆要項を必ずお読みください。

投稿締切日：2025年9月30日（必着）

原稿送付先・問い合わせ先：ehongaku.kiyo@gmail.com

絵本学会紀要編集委員会

研究紀要『絵本学』投稿規程

1. 投稿資格

絵本学会会員および準会員で、当該年度8月31日までに会費を納入済みでなおかつ会員資格を有していること。

2. 投稿の種類

絵本に関する研究論文、研究ノート、論説で未発表のもの。

【研究論文】研究の視点や手法、理論展開および結論に独創性や説得力が高く認められるもの。

【研究ノート】研究の基礎データになる資料調査・実践など報告、あるいは理論構築の可能性が認められるもの。

【論説】学術的な論で、注目すべき研究・作品・作家・展覧会・活動を取り上げての評論など。

3. 投稿原稿の採否

- 1) 査読に基づき、紀要編集委員会が採否を決定する。必要に応じて紀要編集委員の外に査読を依頼する。
- 2) 紀要編集委員会は執筆者に内容の修正を求める場合がある。
- 3) 採否の結果は翌年1月末までに執筆者に通知する。執筆者は採否の結果について説明を求めることができる。この場合、紀要編集委員会は申し出内容を精査の上、適正範囲内で回答する。

4. 執筆要領

執筆は別に定める「執筆要項」（絵本学会ホームページに掲載）に則ること。

5. 著作権

- 1) 『絵本学』に掲載される論文等の著作権は執筆者に帰属する。執筆者は掲載決定後、絵本学会に、著作権のうち複製権の行使を再許諾権付きで許諾するものとする。
- 2) 論文等に引用される文章、図版、写真等の著作権に関する事項は執筆者の責任において処理すること。

6. 研究倫理

- 1) 研究は「絵本学会倫理綱領」に基づき、十分な倫理的配慮の上に行うこと。
- 2) 個人事例を取り上げる際には、個人情報や秘密を保護することに配慮する。研究対象者・保護者・所属長、研究協力者などから承諾を得、論文等にその旨を記載する。

7. 投稿締切日

当該年9月30日（必着）

8. 刊行

当該年度内

9. 原稿の送付

- 1) 原稿は電子データをメールに添付して送付する。
- 2) 原稿送付先：絵本学会紀要編集委員会（メールアドレスは別に指定）規程の改廃は理事会の審議を経て決定される。

改正日 2024年8月8日

「絵本研究参考文献目録」および「絵本原画展ならびに絵本に関連する展覧会リスト」につきまして

例年、関係者の方々のご尽力により、「絵本研究参考文献目録」と「絵本原画展ならびに絵本に関連する展覧会リスト」をまとめていただき『絵本学』に掲載してまいりましたが、今年度より紙の冊子には掲載せず、絵本学会ホームページに掲載することといたしました。

絵本学会 NEWS No.79 冒頭の水島会長あいさつにおける「学会誌『絵本学』の充実の方策とアーカイブ化の推進」の流れを受け、さらには皆様の利便性や年々高騰する出版経費等も勘案した結果、このような判断となりました。どうかご理解ご了承くださいませようよろしくお願いいたします。

研究委員会からのお知らせ

2025 年度研究助成応募申請要項について

2025 年度研究助成についてお知らせいたします。学会員皆様の応募をお待ちしております。応募申請の手順等は以下の通りです。

①応募資格

応募時に 2025 年度年会費納入済みの絵本学会会員であること。プロジェクト研究の場合、構成員全員が会員であること。

②申請方法

絵本学会ホームページ掲載の「2025 年度研究助成応募申請書」をダウンロードして入力し、メールタイトルに「研究助成応募申請」と明記の上、絵本学会研究委員会宛にメール添付にて申請してください。

③募集の件数および助成金額

合計3件（1件につき5万円の助成）

④応募期間

募集開始：2025 年6月1日（日）

締め切り：2025 年6月30日（月） 必着

⑤結果の通知

2025 年7月末日までに研究委員会より研究（代表）者宛てに採否及び採否理由についてメールで通知します。なお、採択された場合、研究（代表）者の氏名、所属（職名）、研究テーマを公表します。

⑥研究成果報告書の提出について

研究成果の報告書をA4サイズ1枚程度（書式、字数は自由）にまとめ、決算報告書を添付の上、2026 年3月中旬までに研究委員会に提出してください。研究成果は、絵本学会大会や『絵本学』での公開を望みます。

【問い合わせ・提出先】

絵本学会研究委員会 ehongakkai.kenkyu@gmail.com



事務局より

2024 年度 絵本学会 第 4 回理事会 議事録

日時：2024 年 10 月 5 日（土）14:00 ～ 16:40 オンライン

出席：水島 尚喜（会長） 穴澤 秀隆 生駒 幸子

かわ こうせい 佐藤 博一 竹内 美紀 永井 雅子

馬見塚 昭久 宮崎 詞美 山本 美希

松本 猛（議事 2 のみ）

会長より開会の挨拶後、以下の項目順に議事が進められた。

◆前回議事録の承認

2024 年度第 3 回絵本学会理事会議事録および 2024 年度第 6 回メール審議議事録が承認された。

◆審議事項・協議事項

1. 第 27 回絵本学会大会決算報告

2024 年 6 月に開催された第 27 回絵本学会大会の決算報告が水島会長（大会実行委員長）より行われた。決算報告書による収支を確認のうえ、オンライン配信会場となった聖心女子大学の学術活動支援による会場費無料、藤本朝巳前会長と相談のうえで設定された登壇者への謝金、海外送金に伴う振込手数料、交通費など、第 27 回大会を特長づける運営上の固有事情について詳述され、理事会の承認を得た。

なお、旅費交通費に関する予算執行については、大会実行委員会、各専門委員会とも、運営責任者である委員長の裁量に委ねられている現状がみられるため、学会として基本的な考え方を共有できるよう、規程の設置が必要であることが確認された。決算時に必要な証書類、決算方法など、旅費交通費規程を含め、会計業務に関連する事項については、事務局が必要に応じて専門家の意見を聞くなどの方法で整理し、理事会内で共有することになった。

2. 第 28 回絵本学会大会について

2025 年度第 28 回絵本学会大会について、松本猛実行委員長をはじめとする実行委員会組織案が示された。理事会からも 5 名が大会担当理事として実行委員会に参画しており、第 28 回大会の事務局は穴澤理事が務めることに決定した。

松本猛実行委員長から、早々に第 1 回大会実行委員会を開催して意見交換を行い、講演者の選定や分科会のあり方などについてまとめていきたいとの指針が述べられた。

水島会長からも、開催地である横浜という場所性を活かした大会が松本実行委員長のもとで実施されることに大きな期待があるとの発言があった。

【第 28 回絵本学会大会実行委員会】

実行委員長

松本 猛（絵本学会会員・ちひろ美術館常任顧問、横浜美術大学客員教授）

実行委員【五十音順】

穴澤 秀隆（絵本学会理事・会長代理）※本大会担当理事
大会実行委員会事務局

有福 一昭（絵本学会会員・有明教育芸術短期大学）

佐藤 博一（絵本学会理事・事務局長）※本大会担当理事

竹内 美紀（絵本学会理事・機関誌編集委員長）※本大会担当理事

辻 政博（絵本学会会員・元帝京大学）

原島 恵（絵本学会会員・公益財団法人いわさきちひろ記念事業団 ちひろ美術館・東京 安曇野ちひろ美術館 シニア・アソシエイト、主任学芸員）

正木 賢一（絵本学会会員・東京学芸大学）

松本 由美（絵本学会会員・玉川大学）

水島 尚喜（絵本学会理事・会長）※本大会担当理事

宮崎 詞美（絵本学会理事・広報委員長）※本大会担当理事

森 景子（絵本学会会員・Sapporo えほんの森）

劉 娟（絵本学会会員・横浜国立大学非常勤講師）

3. 第 28 回絵本学会大会発表募集要項について

資料をもとに、前回までと同様、次号 NEWS および学会ホームページで研究発表、作品発表の募集を行うことが確認された。新規入会者の発表については、本年 12 月 31 日までに入会を申し込み、来年 1 月 31 日までに手続きが完了していることを条件となる。

4. 委嘱状の発行について

各専門委員に会長名（会長印）で発行する委嘱状（PDF）を各委員長から配布することになった。

また、紀要編集委員会においては、「絵本研究参考文献目録」ならびに「絵本原画展ならびに絵本に関連する展覧会リスト」の作成を委嘱する会員に対し、委員長名（学会印）で委嘱状（PDF）を発行する。

5. 9 月度入会希望者について

以下の新入会者（敬称略）が承認された。

【正会員】 堀口 貴恵子、王 軒、齋藤 紀子、町田 りん、

中尾 史子、以上 5 名

【準会員 a】 千葉 理平、以上 1 名

計 6 名

また、本議案に関連して、事務局より新しい入会申込フォーム（Google Forms）の 2025 年度導入に際し、「推薦者・紹介者（絵本学会会員）」の記載項目を任意回答欄として設けることが提案され、承認された。

◆報告事項

1. 各専門委員会より

① 企画委員会

本年度「絵本フォーラム 2024」の詳細について報告された。

絵本フォーラム 2024

ビジュアルで物語の多様性—英語圏の出版市場での絵本づくり
かわこうせい（絵本イラストレーター）

2025 年 2 月 23 日（日）14 時～16 時

筑波大学東京キャンパス（文京区大塚）対面開催のみ
定員 80 名（先着順）／参加費 1000 円／Google Forms で
申込

② 紀要編集委員会

学会紀要『絵本学』27 号の投稿募集が 9 月 30 日で締め切
られた。

論文・研究ノート合わせて 11 編の応募があり、査読は複数体
制で行うため、紀要編集委員のほかにも査読の適任者を選出
中である旨の報告があった。投稿資格（会費納入状況）は事
務局で確認する。

また、目録の PDF 化に伴い、総ページ数が従来の約半分に
なったため、制作費の見積もりを元に印刷業者が確定される
予定。

③ 機関誌編集委員会

編集協力と印刷製本および発売を委託している株式会社文
伸の多大な尽力があり、10 月に入って『絵本 BOOKEND
2024』が発送準備段階に入った。前委員長からの引き継ぎが
ようやく始まったところではあるが、次号以降は可能な限り 6
月の発刊を目指すこと、および、株式会社文伸には引き続き
本件を委託することが申し送られている。

次号は現行の体裁を踏襲し、「科学絵本」を大きな特集として
全体の構成を考える旨が報告された。

④ 研究委員会

11 月 16 日（土）14 時～17 時に一橋大学で開催する「2024
年度絵本研究会」のプログラムが共有された。会員から応募
があった 7 件の研究発表会を実施する。今回は対面形式のみ
で開催する。

⑤ 広報委員会

絵本学会 NEWS 80 号の原稿を締め切りが 10 月 23 日である
旨が案内された。今回、「2024 年度絵本研究会」の発表者
募集は学会ホームページのみで行われたが、適切な申し込み
数も確保されたことから、委員会内では紙媒体としての「絵本

学会 NEWS」の意義について再検討を行なっていることが報
告された。

学会ホームページの情報更新は月に 3 回程度を目安としている。

⑥ 日本絵本研究賞運営委員会

前回理事会で承認された賞金の増額を反映させ、第 6 回日
本絵本研究賞・日本絵本研究賞特別賞の推薦募集について、
学会ホームページで告知した。

2024 年次の推薦受付は、11 月 1 日～30 日（必着）としている。
また、運営規程等は現在、委員会内で検討中との報告があっ
た。

2. 事務局より

- ・学会ホームページ「学会概要」内の「学会役員・組織」「連
絡先」について、書式・記載内容の更新案が提示された。
- ・会則第 10 条に則り、事務局構成員として高原佳江会員（京
都芸術大学）を任命することが確認された。
- ・各専門委員会規程（最新版）を次号の学会ニュースに掲載
するとともに、学会ホームページ「学会概要」内「学会会則・
各種規程」として掲出するため、広報委員会と協議を進める
こととなった。
- ・新入会の申込フォームを更新し、学会ホームページに掲出す
る予定である旨の報告があった。

3. その他

次回（第 5 回）理事会の開催は 2 月下旬～3 月上旬を予定し、
当面は各専門委員会および大会実行委員会の活動に従事する
こととなった。

2024 年度 絵本学会 第 7 回メール審議 議事録

日時：2024 年 11 月 5 日（火）発信

回答：穴澤 秀隆 生駒 幸子 かわ こうせい 佐藤 博一
竹内 美紀 永井 雅子 馬見塚 昭久 山本 美希

◆審議事項

1. 新入会員について

以下の方（敬称略）からの新入会申込の審議について過半
数の承認により可決された。

【正会員】 山内 知恵子、泉 順子、坂本 ゆかり、野村 富貴子、
村田 純子、井川 幸子、以上 6 名

計 6 名

2024 年度 絵本学会 第 8 回メール審議 議事録

日時：2024 年 12 月 17 日（火）発信

回答：生駒 幸子 かわ こうせい 佐藤 博一 竹内 美紀
永井 雅子 山本 美希

◆審議事項

1. 新入会員について

以下の方（敬称略）からの新入会申込の審議について過半数の承認により可決された。

【正会員】 白倉 弘幹、佐野 由華、以上 2 名
計 2 名

2024 年度 絵本学会 第 9 回メール審議 議事録

日時：2024 年 1 月 18 日（火）発信

回答：水島 尚喜 生駒 幸子 かわ こうせい 佐藤 博一
竹内 美紀 永井 雅子 馬見塚 昭久

◆審議事項

1. 新入会員について

以下の方（敬称略）からの新入会申込の審議について過半数の承認により可決された。

【正会員】 土田 耕司、樋口 陽子、桐川 敦子、以上 3 名
計 3 名

2. 名義後援

以下の展覧会後援について絵本学会の名義使用の申請があった。

《ちひろのアルバム》

2025 年 3 月 1 日～5 月 11 日 ちひろ美術館・東京

《戦後 80 年ちひろと世界の絵本作家たち 絵本でつなぐ「平和」》

2025 年 3 月 1 日～6 月 1 日 安曇野ちひろ美術館

以上

事務局より

寄贈資料

- ・令和 5 年度国際子ども図書館児童文学連続講座講義録『幼年童話の可能性－開いて、読んで、物語の世界へ－』（国立国会図書館国際子ども図書館企画協力課協力係様より）
- ・第 29 回ブラチスラバ世界絵本原画展 BIB2023 図録『ブラチスラバからやってきた！世界の絵本パレード』（砺波市美術館／長田里恵様より）
- ・『いわさきちひろ 写真資料目録』（公益財団法人いわさきちひろ記念事業団／武石香様）
- ・「絵本作家 降谷 かな原画展」実施報告資料（株式会社 MIMOseele／千葉絵理子様）
- ・風響社『絵本から学ぶ韓国の言葉と文化』（著者・立川真理恵様）

絵本学会後援による展覧会

《ちひろのアルバム》

2025 年 3 月 1 日～5 月 11 日 ちひろ美術館・東京

《戦後 80 年ちひろと世界の絵本作家たち 絵本でつなぐ「平和」》

2025 年 3 月 1 日～6 月 1 日 安曇野ちひろ美術館

《軽井沢絵本の森美術館 2025 年春展「たのしいイソップ童話の世界」》

2025 年 3 月 8 日～6 月 22 日 軽井沢絵本の森美術館

《ブラチスラバからやってきた！世界の絵本パレード》

2025 年 3 月 22 日～5 月 18 日 千葉市美術館

2025 年 5 月 24 日～7 月 6 日 足利市立美術館

編集後記 (50 音順)

絵本学会大会横浜大会が間近に迫ってまいりました。現在、会長代理・穴澤秀隆先生と共に大会リーフレットの制作に取り組んでおります。

ご連絡をいただいた際に気づいたのですが、穴澤先生は私が小学生時代にソフトボールを一緒にしていた穴澤くんのお父様でした。

絵本を通じて、素敵な偶然の出会いもあるのだと、改めて感じました。

(博多哲也)

「堀内 誠 一 展 FASHION・FANTASY・FUTURE」へ。多才で多彩に満ちた世界を堪能するとともに、絵本とグラフィックデザインとの親和性をあらためて感じました。

そして、同い年の 54 歳で逝去されたことを知って驚きました。本当に多大なる功績を残されたのですね。

バイブル的愛蔵本のひとつに『絵本の世界 110 人のイラストレーター 1・2』があります。大変影響を受けました。何だか絵本をつくりたくなった今日この頃です。

(正木賢一)

紙面の色決めを担当するようになってから、絵本ニュースの発行と共に季節の移ろいを感じるようになりました。

色を決める時は、発行時を意識して季節を先取りいたしますが、すぐに季節が追いついてきます。全国の皆さまに、春色の絵本 NEWS 81 号と素敵な春が訪れますよう、お祈りしながらお届けします。

(松本由美)

今号は、第 28 回絵本学会大会のご案内・2025 年度研究助成応募申請要項・『絵本学』第 28 号投稿募集とたくさんのお知らせとなりました。学会の様々な情報は絵本学会ホームページ (<https://ehongakkai.com/index.html>) に随時掲載してまいります。あわせてご覧ください。

今年 6 月の大会は横浜で開催です。横浜の街にはおいしいものもたくさんありますので、ぜひお越しください。

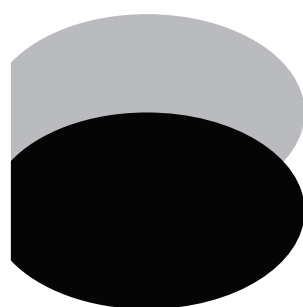
今号もご協力いただきました皆様に感謝申し上げます。

(宮崎詞美)



イラストレーション：博多哲也

※イラストレーションを許可なく無断転載、コピー、再配布することはご遠慮ください。



絵本学会